

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
プリエ HUT		令和7年2月4日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		支援室を目的に応じて使用することで適切に対応することができている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		集団活動で過ごせるよう日々支援を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		1つ1つの部屋を広々と使えるように毎日、片付けを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日、掃除を子どもたちと行い。その後にもう一度職員が行い、清潔を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		区切られた空間と確保し、適切に使用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の朝礼で支援についての意志疎通をしている。そこでPDCAを伝えている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年1回の評価表を配布し、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員同士が意見交換をしやすいように日々、コミュニケーションを摂ることを心掛けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		外部からの評価を頂き、業務改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月、1つの単元の研修を行っている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPIに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々、送迎などで、保護者との関わりを大事にしている。それぞれ子どもの様子は、毎日観察し、記録に残し、様子がいつもと違う場合は、職員間で話合っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画を元に支援内容の共通理解をする時間を必ず取るようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		冊子を準備しており、確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		一人ひとりのファイルを作り、確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		職員全体で確認しながら作成しており、支援に繋げている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		現場での子どもたちの様子等の報告を密に行うことで、活動プログラムの立案にも全ての職員の意向や思いが反映されている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日々、職員同士で一人ひとり子どもたちの現況を確認して、個別活動や集団活動に新しい活動を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別には、ビジョントレーニングを実施し、戸外での集団活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の朝礼で密な話し合いを行うことができる。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後は、職員間で報告をし合い、何か問題が起こった場合は、迅速に対応をしている。支援内容で結論が出ない場合は、次の日の朝礼で意見を出し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		その日の内に記録を書き、改善点などが必要な場合は、職員間で話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		受給者証記載通り、またはモニタリングが必要な場合は、訂正を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		職員で確認しながら行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子ども主体で子どもたちの声を傾聴しながら決めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者会議前には、紙面を作成して、職員間で確認を行い、参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			これからもう少しずつ連携先を増やしていこうと思っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校の先生から、学校での子どもの様子について、こちらから積極的に聞ける体制を整えることができる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		児発利用されていた家庭からは、情報共有をして頂いているが、こちらからも積極的に行っていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援事業所を通して情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		これから研修を受ける機会を増やしていこうと思っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		他事業所との関わりを持つことがまだできていない、これから計画していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		これから少しずつ参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者とのやり取りを必要な時以外にもこちらから積極的に関わることで、様々な方面において共通理解ができている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		共働き家庭が多く、時間的に交流することが難しい。年に1回からでも保護者同士の交流ができるよう考えたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		HPIに公表しています。と伝えたり、契約時に説明を行い、分からない箇所を確認している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子ども主体であり、子どもの気持ちを優先にしながらも保護者様の考えも確認を行い、本事業所のできることをお伝えしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		契約時や、支援内容に追加などがある場合は、随時知らせ、同意を頂いている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の連絡帳でのやり取り、送迎時などで行っている。面談などで調整を行うこともあるが、その日の内に保護者様の気持ちを楽にする必要が有る場合は、送迎時の際に時間を作っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		共働き家庭が多く、時間的に交流することが難しい。年に1回からでも保護者同士の交流ができるよう考えたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		行っています。職員間で話し合いを行い、改善方法を考え、出来る限り早く、保護者様にもお伝えしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		行っている。日々の子もたちの様子を写真に撮り、SNSや月1の通信で伝えている。何気なく発した言葉なども載せている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人ファイルの保管を行い、鍵付きの書棚に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		日々の保護者様とのやり取りや、事前に頂いているアセスシートなど、職員共通理解として確認を行い、追加や変更の場合も随時伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		情緒の子どもばかりなので、情緒面などを考え、地域参加をあまり行っていなかったが、年に1度の夏祭りなどは、参加していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		行っている。行った際や感染症が流行する時期などは、月1の通信で伝えている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		行っている。またいつでも確認できるように冊子としても常時置いている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に服薬等などの変更がある場合は。随時教えて頂くように伝えている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		行っている。アレルギーをお持ちのご家庭とは、何度も確認を行い、緊急時対応なども確認し、職員間でも共有している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		行っている。またいつでも確認できるように冊子としても常時置いている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		行っている。緊急連絡先もすぐに取り出せるようにしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		行っている。朝礼でも報告を行い、再発防止について考えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		必ず虐待に対する研修をどの職員にも年に1回受けることを義務として常に職員間でお互いの行動を確認するようにしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		行っている。またいつでも確認できるように冊子としても常時置いている。	